

(公財) 地震予知総合研究振興会  
長岡平野西縁断層帯の活動性評価に関する研究委員会 (第26回)

概要報告

1. 日時 2023年3月2日(木) 13:30~16:50

2. 出席者

主査	東北大学	名誉教授	長谷川 昭
委員	東京大学	名誉教授	岩崎 貴哉
	長岡技術科学大学	教授	大塚 悟
	東京大学地震研究所	教授	小原 一成
	地震予知総合研究振興会	会長	金沢 敏彦
	名古屋大学	教授	鷺谷 威
	防災科学技術研究所	主任研究員	武田 哲也
	東北大学	准教授	中原 恒
	東京大学	名誉教授	平田 直
	産業技術総合研究所	グループ長	丸山 正
事務局	(公財) 地震予知総合研究振興会		

(敬称略)

3. 議第

- (1) 2022年度の活動報告等
- (2) 長岡平野西縁断層帯周辺の地盤構造等の検討—地震波形の数値モデリング(3)—
- (3) 人工知能による地震研究の新展開

#### 4. 委員会の状況

2022年度の活動報告として①地震活動状況等について、②GNSS観測結果等について説明があったのち、観測データを用いた解析、地震動分野における人工知能の導入例等の幅広い分野における最新の調査研究について話題提供があった。

##### (1) 2022年度の活動報告等

2022年度の活動報告が行われた。

- ① 本検討で整備した稠密地震観測網（AN-net）の維持管理状況および地震活動状況の説明が行われ、委員会では、観測網の内外における震源決定の精度等について意見交換が行われた。
- ② GNSS観測結果等について、データ処理の状況、観測データを用いた解析等について説明が行われ、委員会では、局所的な短縮・伸張歪み変化とその要因等について意見交換が行われた。

##### (2) 長岡平野西縁断層帯周辺の地盤構造等の検討—地震波形の数値モデリング(3)—

長岡平野西縁断層帯周辺を対象領域として、3次元地下構造モデルを用いた表面波解析等について検討した結果が紹介された。委員会では、地震波干渉法による計算結果の解釈等に関して意見交換が行われた。

##### (3) 人工知能による地震研究の新展開

人工知能による深層学習に基づき、地震計古記録から低周波微動を検出する研究の取り組みについて紹介された。委員会では、目的に応じた学習データの選択、成果の実用化等に関して意見交換が行われた。

以 上